

令和4年9月

各 位

八戸市東京事務所長

## 八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和4年9月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださいますようお願いいたします。

八戸市では、子育て環境の充実のため、母子健康手帳の機能や子育てに関する情報発信機能を備えた子育て支援アプリ「はちも」の運用を開始しました。

子どもの身長や体重の記録に活用できるほか、子どもの生年月日などを登録することで、予防接種のスケジュール管理や予定日が近づくと通知が届く機能があり、子育て関連の支援制度やイベントの情報も確認することができます。

また、県内の10自治体でも同様のアプリが導入されており、市外へ転出した場合でも、同様のアプリが導入済みの自治体の場合は、引き続きアプリを利用することができます。

◆「はちも」の詳細はこちらをご覧ください。(市ホームページ)

<https://www.city.hachinohe.aomori.jp/soshikikarasagasu/kosodateshienka/18815.html>

### ◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-4-2 全国都市会館 5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: [tokyo@city.hachinohe.aomori.jp](mailto:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp)

# 八戸 9月号 レポート

令和4年8月の八戸市内での出来事や  
八戸市に関連する情報をお届けします。

## 【行政】

記事	概要
(1)	第7次八戸市総合計画アンケート「医療充実」高い満足度
(2)	八戸市営魚菜小売市場 8月12日からテナント募集
(3)	八戸市24時間対応 新型コロナウイルス コールセンター設置
(4)	八戸市 企業誘致活動活発化 3年ぶり八戸セミナー開催
(5)	八戸市中心街 24年度まで、市が新規事業 活性化へデジタル活用

## 【産業】

記事	概要
(7)	旧河内屋に蔵元直売所 八戸酒類オープン
(8)	8base (東京) 9月で開業2周年 八戸圏域ファン着々と
(9)	八戸に移住 斉藤さん代表のITベンチャーが配信開始 各地の事業者サポートオンライン講座
(10)	地域代表する40社一堂に 説明会に就活生ら80人
(11)	「虎鯖アヒージ」発売 八戸産サバ50匹分の脂使用
(12)	東京・国内最大級の見本市「八戸産」販路拡大へ ムラサキイカPRに力

## 【地域】

記事	概要
(12)	イベントで中心街元気に マチニワで毎月開催 食テーマ、8月25日は「肉フェス」
(13)	薄紅色の花 八戸・種差海岸のハチノハトウヒレン
(14)	八戸花火大会 華やか6000発
(15)	東北新幹線八戸開業20周年イベント クラフト酒、グルメ提供

## 【文化・スポーツ】

記事	概要
(16)	八戸三社大祭 勇壮山車 3年ぶり運行
(17)	ウクライナ名門「キエフ バレエ」八戸公演
(18)	人馬一体の妙技、観客魅了 八戸でスポーツ流騎馬大会
(19)	フラット八戸でイベント eスポーツ白熱のバトル

## 【行政】

記事	概要
(1)	<p><b>第7次八戸市総合計画アンケート「医療充実」高い満足度</b></p> <p>八戸市は8月9日、18歳以上の市民とモニターの計1115人を対象に市政運営の指針となる第7次市総合計画（2022～26年度）に関する市民アンケートの結果を公表した。回収率は48.3%。総合計画は市政の最上位計画。全55施策のうち、ドクターヘリの運用を含めた「地域医療の充実」は、「満足」「やや満足」を合わせた割合が最も高く、全項目の中で唯一、8割を超えた。一方、出会いの機会の創出など「結婚支援の充実」は6.3%で最低。地域経済と関わりが深い産業・雇用分野の満足度の低さが目立った。</p>
(2)	<p><b>八戸市営魚菜小売市場 8月12日からテナント募集</b></p> <p>八戸市は11月下旬にリニューアルオープン予定の八戸市営魚菜小売市場について、8月12日から、9月12日まで新たに入居する店子（テナント）の募集を開始した。新たな市場は旧市場の2階部分を減築した平屋で、回遊性を高めるため、観光客に人気がある食堂を中心に配置。店子が入る売り場は食堂を囲むような「コの字型」となる。食堂を除く総店舗数25区画の内、これまで入居していて仮営業していた22の店子以外の3区画分を募集する。鮮魚や海藻類、青果などの販売を行う市内の業者が対象で、10月上旬の選考会で決定する。水産事務所は、市場を盛り上げてくれる店子に入居してほしいとしている。</p>
(3)	<p><b>八戸市24時間対応 新型コロナウイルス コールセンター設置</b></p> <p>八戸市は、7月19日、7月の新型コロナウイルス感染急拡大の影響で市保健所内の受診・相談センターの電話がつながりにくくなった状況を受け、電話相談を受け付けるコールセンターを開設した。コールセンターは24時間態勢で、日中は6回線、午後10時から午前6時までの時間帯は2回線で運用。音声ガイダンスで問い合わせ先を振り分け、事務的な相談と専門的内容を分けて混雑の解消を図る。受診など医療関係の相談は、保健師らが対応し、政府の感染者情報共有システム「MY HER-SYS(マイハーシス)」の利用法や療養証明などに関する内容は、外部委託のコールセンター職員が受ける。</p>
(4)	<p><b>八戸市 企業誘致活動活発化 3年ぶり八戸セミナー開催</b></p> <p>八戸市は、7月に東京と名古屋市で「八戸セミナー」を3年ぶりに開催した。本セミナーは、市が毎年行う誘致活動の一環で、港湾や物流、商社を含めた企業の関係者を集め、熊谷雄一市長が八戸の特色をアピール。国際物流港やインフラが整備され、多様な産業が集積する地域の優位性を発信した。微細合金粉末の生産で世界トップシェアを誇るエプソンアトミックスの大塚勇社長など経営者らも講演し、市内での事業展開について説明した。堅調だった企業進出はコロナ禍で鈍ったが、今後は自動車やヘルスケア関連などの成長分野を誘致のターゲットに据える方針。</p>
(5)	<p><b>八戸市中心街 24年度まで、市が新規事業 活性化ヘデジタル活用</b></p> <p>八戸市は中心街活性化に向け、デジタル技術を活用した新規事業「はちのへAI（アイ）中心街・バス活性化プロジェクト」を展開する。点在する駐車場の利便性が低く、有料であることが買い物客離れの一因とされていることを受け、中心街にある民間駐車場のネットワーク化を推進し、複数店舗での購入金額に応じて割引するなどのサービスシステムを構築する。また、商店やイベントの情報を発信するアプリや、人口知能(AI) カメラを使った人流分析システムの開発、バスの利用促進などによる誘客推進なども図る。事業は、2024年度までの3年間で実施し、国の地方創生推進交付金（補助率2分の1）を活用し、9月開会の市議会定例会に本年度の事業費1億1490万円を計上する。</p>

## 【産業】

記事	概要
(6)	<p><b>旧河内屋に蔵元直売所 八戸酒類オープン</b></p> <p>八戸酒類は8月8日、八戸市八日町にある国登録有形文化財の洋館「旧河内屋橋本合名会社」の1階に蔵元直売所をオープンした。地酒「八鶴」「如空」を取りそろえ、専用瓶に詰め替えて購入できる「蔵出し通い酒」や地酒の仕込み水で作ったオリジナルの「三島サイダー」などを提供する。今後は、店内で酒が飲める「角打ち」スペースを設けるほか、地酒に関する講座などのイベントも企画している。建物は、同社前身の「河内屋」がかつて事務所として使用していたもので、レトロな雰囲気を残す建築様式が特徴。八日町では、同市番町と合わせて民間主導の再整備構想が浮上しており、今回の再活用はその一環。さらなる知名度向上や地酒の普及、新たな回遊性の創出につなげたい考え。</p>
(7)	<p><b>8base (東京) 9月で開業2周年 八戸圏域ファン着々と</b></p> <p>東京・内幸町の八戸都市圏域交流プラザ「8 base (エイトベース)」が、9月で開業2周年を迎える。2020年の開業以来新型コロナウイルス禍で大半は時短営業や休業、酒類の提供中止を余儀なくされ、21年は制限を設けずに営業できたのが年間わずか75日にとどまった。今春ようやく通常の態勢に戻った途端、流行の第7波が到来した。一方、この2年間はハンディを背負いながらも、集客の実績を残してきており、実店舗と連動したオンラインショップも順調な売れ行きとなった。また、施設の認知度が高まり、外部からの持ち込みイベントなど活用の新機軸も生まれている。手探りの集客は続くが、着実にファンを増やしてきたとする関係者は、ウィズコロナの運営をこれからも模索していく。</p>
(8)	<p><b>八戸に移住 斉藤さん代表のITベンチャーが配信開始 各地の事業者サポートオンライン講座</b></p> <p>八戸市に移住した斉藤翔さん（京都出身）が代表を務めるITベンチャー「オトコロドットコム」が、料理や音楽などの講座をオンラインで配信する「オトコロライブ」の新サービスをスタートした。同社は、店舗の料金情報を比較できるサイト「オトコロドットコム」を運営。新型コロナウイルス感染拡大で、対面での講座開催が難しくなっている中、各種講座や教室を展開する事業者の新規顧客獲得や収益改善に向け、オンラインレッスン開催の場を提供している。全国から受講生を募り、各地でカルチャースクールを手掛ける事業者をサポートする。受講料は月額500円からで、現在は、料理を中心にフィットネスやピアノなど15種類の講座を配信。今後もオンライン講座のジャンルを広げていく考え。</p>
(9)	<p><b>地域代表する40社一堂に 説明会に就活生580人</b></p> <p>北奥羽地方で事業展開する企業の人材確保や地元就職の促進に向け、デーリー東北新聞社が企画する「リクルートラウンジ」の企業内容説明会が8月20日、八戸プラザアーバンホールで開かれた。リクルートラウンジは今年で5年目で、資料配布含め、建設業や流通業などから地域を代表する40社がエントリー。各社はブースを構え、代表者や人事担当者が業務や職場環境などを説明した。高校生や大学生、転職希望者ら約80人が来場し、地元企業の事業内容などに理解を深めた。説明会は今後も開催予定で、9月17日には東京都内で大学生や専門学生、UIターンを考える社会人向けにも行う。</p>

(10)	<p><b>「虎鯖アヒージョ」発売 八戸産サバ50匹分の脂使用</b></p> <p>八戸ニューシティホテルの谷口圭介板長が、オリーブオイルの代わりに八戸産のサバの脂を使用した新商品「はちのへ虎鯖アヒージョ」の販売を始めた。従来はさばく段階で取り除いていた内臓の脂を抽出。これに切り身や青森県産ニンニク、青なんばんを漬けて瓶詰にした。添加物や化学調味料は使用せず、3年間の試行錯誤を重ねて商品化した。谷口板長によると、そのまま食べてもおいしいが、フライパンにあけて野菜やキノコ類を加えて加熱し、パスタとあえる食べ方もお勧めという。価格は1瓶160グラム、2700円（税込み）。インターネットショップ「虎鯖本店」などで購入できる。</p>
(11)	<p><b>東京・国内最大級の見本市「八戸産」販路拡大へ ムラサキイカPRに力</b></p> <p>国内最大級の水産関連商品の見本市「ジャパンインターナショナルシーフードショー」が8月24日～26日まで東京ビッグサイトで開催された。大日本水産会が主催し、約550社が出店、約1万8千人が来場した。関係者が販路拡大に向けてPRに力を入れている八戸港で水揚げされたムラサキイカ（アカイカ）の加工品も並んだ。近年、不漁が続くスルメイカの代用として注目されるムラサキイカは、従来の主力だった乾燥珍味原料としてだけでなく、生食用も流通している。海外情勢の影響で輸入量が少ない中、国内産の存在は重要になってくる一方、認知度向上が課題となっている。</p>

【地域】

記事	概要
(12)	<p><b>イベントで中心街元気に マチニワで毎月開催 食テーマ、8月25日は「肉フェス」</b></p> <p>八戸市の商店街振興組合三日町三栄会は、中心街のマチニワを会場に、今月から来年3月まで食をテーマとしたイベントを毎月開催する。イベントは、会場と備品の利用料が免除となる市の「マチニワイベント支援事業」を活用する。初回の8月25日と第2回の9月30日は「肉フェス・ビアガーデン」を開催。同市三日町の居酒屋やレストランなど4店舗が参加し、自慢の肉料理を提供。以降はほかの食材を題材とし、冬には「鍋フェス」を企画している。新型コロナウイルスの感染拡大で飲食店への足が遠のく中、新たなにぎわいの創出や若者の来訪につなげたい考え。</p>
(13)	<p><b>薄紅色の花 八戸・種差海岸のハチノハトウヒレン</b></p> <p>八戸市の種差海岸で、ハチノハトウヒレンが薄紅色の愛らしい花を咲かせ、潮風に揺れている。花期は8月から9月で、希少種だが、ここ数年は数が増えてきている。海岸沿いの風衝温原に生えるキク科の多年草で、ナンブトウヒレンと混同されてきたが2008年に別種として発表された。種差観光協会の柳沢卓美会長は、「ハチノハトウヒレンは種差の気温や気候に適応している。秋ごろまではほかの花も楽しめるので、ぜひ種差に足を運んでほしい」話していた。</p>
(14)	<p><b>八戸花火大会 華やか6000発</b></p> <p>第42回八戸花火大会が8月21日、八戸市の館鼻岸壁で開かれた。今年は東北新幹線八戸駅開業20周年を記念して実施された。打ち上げは午後7時過ぎに色鮮やかなスターマインでスタート。平和を願う鳳凰を表現した壮大なプログラムや大玉42連発など、約6千発の花火が夜空を彩り、見物客を魅了した。新型コロナウイルスの対策で、観覧席への入場は、有料席と招待席に制限したが、3年ぶりに飲食物を提供する屋台も出店し、会場周辺はにぎわいを見せた。</p>
(15)	<p><b>東北新幹線八戸開業20周年イベント クラフト酒、グルメ提供</b></p> <p>12月1日の東北新幹線八戸開業20周年を記念するイベントの第1弾「はちのへエリアのクラフト酒&amp;グルメぐれっとまつり」が、関連事業実行委員会主催で8月28日、八戸市のユートリーで開催された。同イベントでは19店が出店し、1階の多目的大ホールを新幹線の車内に見立て、八戸圏域の日本酒やワイン、ビールといったクラフト酒のほか、多彩なグルメなどを提供した。ステージイベントや新幹線で使用されるワゴンでの販売サービス、駅員によるアナウンスなども行われ、多くの家族連れが楽しんだ。</p>

【文化・スポーツ】

記事	概要
(16)	<p><b>八戸三社大祭 勇壮山車 3年ぶり運行</b></p> <p>約300年の歴史と伝統を誇る八戸三社大祭が7月31日～8月4日まで開催された。新型コロナウイルス禍で神社行列と山車の合同運行は見送られたが、1日には、特別行事で全27山車組が力を合わせて共同制作した、唯一無二の移動型山車が中心街に登場。3年ぶりに勇壮な山車が全山車組関係者と郷土芸能と共に練り歩いた。また、八戸市庁前市民広場では、初の試みとして全山車組がそれぞれ制作した据え置き型の小型山車が展示され、「マチニワ」ではにぎやかにお囃子も披露された。祭本部によると、期間中5日間の代替行事の人出は10万7千人だった。</p>
(17)	<p><b>ウクライナ名門「キエフ バレエ」八戸公演</b></p> <p>ウクライナ国立歌劇場の名門バレエ団「キエフ・バレエ」による日本ツアー「キエフ・バレエ・ガラ2022」の八戸公演が8月5日、八戸市公会堂で行われた。未だ戦禍にあるウクライナ。約30人のダンサーは平和の祈りを込めた踊りを披露し、観客を魅了した。公演は様々なバレエ作品の名場面で構成され、ウクライナの民族舞踊を基にした「ゴバック」で華やかに開幕すると、花輪をもってかれんに舞う「海賊」、ウクライナの国花を題材に、日本ツアーのために作られた「ひまわり」など8演目を披露。しなやかで力強い演技に、来場した約千人の観客から万来の拍手が送られた。</p>
(18)	<p><b>人馬一体の妙技、観客魅了 八戸でスポーツ流鎗馬大会</b></p> <p>全国スポーツ流鎗馬第7回八戸大会が8月11日、八戸市の櫛引八幡宮で開かれた。はかま姿の騎手が疾走する馬上からの的を射抜き、人馬一体の迫力ある妙技で観客を魅了した。同大会は2016年から毎年開催されているもので、一般や上級など4部門に青森県内外から27人が参加。全長約150メートルのコースに三つの的を設置し、的中数の合計点とタイムを競った。また、会場には八戸高専弓道部による弓矢体験コーナーなども開設され、子ども連れらでにぎわった。</p>
(19)	<p><b>フラット八戸でイベント eスポーツ白熱のバトル</b></p> <p>東北最大級のeスポーツイベント「ビヨンド ザ リージョン ゲーミングフェスティバル」が8月11日、八戸市尻内町の多目的アリーナ「フラット八戸」で開催された。イベントは、同アリーナの映像・音響設備工事を手がけた電音エンジニアリング（東京）が、2月の開催に引き続き2回目の主催。今回はアリーナフロアを会場に、施設の音響設備や大型ビジョンを活用して演出。人気ゲーム「フォートナイト」や「フォールガイズ」の交流戦では、ゲーム機などを持ち込んだ来場者がプロ選手や芸人らの実況の下、白熱したバトルを繰り広げた。全国のeスポーツ団体によるオンラインの交流戦や抽選会などもイベントを盛り上げた。</p>

はちのへ

## ふるさと寄附金のご案内

### 『ふるさと寄附金』で八戸を元気に!

八戸市では、「八戸を応援したい!」「八戸が大好き!」という方々からいただくご寄附を『ふるさと寄附金』と名付け、八戸の魅力を高めるためのさまざまな事業に活用させていただきます。ぜひ、『ふるさと寄附金』という形で八戸市を応援してください!



### ふるさと寄附金の3つの魅力

#### ① 寄附金の使い道を指定できる

震災復興、子育て支援、まちづくりなど複数の分野から、寄附金の使い道を選ぶことができます。

#### ② 税金が控除(還付)される

控除上限額内で寄附を行うと、合計寄附額から2,000円を超える部分について、所得税の還付や住民税の控除を受けることができます。(控除上限額は収入や家族構成によって異なります。詳しくはお住まいの市区町村の個人住民税担当部署にお問い合わせください。)

#### ③ お礼の品がもらえる

八戸市では、10,000円以上の寄附をされた八戸市外にお住まいの個人の方に、地域の名産品を「お礼の品」としてお届けしています。

## 八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

TEL:03-3261-8973 FAX:03-3239-6723

Email:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

[所長] 松橋 大輔 [主事] 前田 哲 [事務員] 浜井 章代

八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っております。関連情報がございましたら、ご提供くださるようお願いいたします。また、事務所の近くにお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。

### 申込み方法

#### 郵送・FAX・メール

- 「ふるさと寄附金申込書」に必要事項をご記入の上、ご提出ください。
- 申込書は市ホームページからもダウンロードできます。
- 申込書の郵送をご希望の方はご連絡ください。

市ホームページ



#### インターネット

- 下記2つのふるさと納税ポータルサイトから商品をお選びいただけます。
- 各ポータルサイトの決済方法に従って、寄附金のお支払いをお願いします。
- クレジットカード決済をご希望の場合はこちらからお申込みください。

ふるさとチョイス

楽天ふるさと納税



### 送付先

#### 八戸市 広報統計課 ふるさと寄附金担当

〒031-8686

青森県八戸市内丸1-1-1

TEL:0178-43-2319

FAX:0178-47-1485

Email:furusatotax

@city.hachinohe.aomori.jp

※担当部署が住民税課から広報統計課に変わりました。